

新聞の訪問販売トラブル

～悪質な勧誘にはご注意ください～



新聞の訪問販売に関する相談が多く寄せられています。特に、高齢者が契約当事者である相談が目立ちます。

事例
1

新聞の勧誘員の訪問を受け、帰ってほしいと断ったが、契約書にサインをしないと帰らないと2時間勧誘された。しかたなく、2年先から1年間の購読契約をしましたが、解約したい。

事例
2

一人暮らしで高齢の母が入院し、新聞が2紙配達されていることに気づいた。1紙は約1年前に契約したものであるが、当時から母には判断力の低下の症状が見られた。解約を申し出たら1紙は解約に応じてくれたが、もう1紙は応じてくれなかった。

《消費者へのアドバイス》

- **ドアを開ける前に用件を確認しましょう。**
自宅に訪問を受けた場合、すぐにドアを開けず、インターホンやドア越しに業者名や用件を聞くなどして、必要がなければ勧誘をきっぱり断りましょう。
- **長期の契約や1年以上先からの契約は慎重にしましょう。**
長期間のうちには事情が変わることもあり、トラブルの原因にもなりますので注意が必要です。
- **訪問販売などの場合、契約書を受け取ってから8日以内であればクーリング・オフすることができます。**
クーリング・オフ期間を過ぎると販売店との話し合いが必要となり、解約交渉は容易ではありません。
- **家族や周囲の方が気をつけて、高齢者を見守るようにしましょう。**
新聞に限らず、高齢者が意に沿わない契約をしていないか普段からの見守りが大切です。

(板橋区消費生活相談員)

広告



こんな仕事をお待ちしています

- ◎ 植木・除草 ◎ 襖・クロス
- ◎ 毛筆あて名書き ◎ 一般事務
- ◎ マンション・事務所等清掃
- ◎ 家事・育児援助サービス
- ◎ 洋服のお直し・オーダー 他

◆ お気軽にお問合わせください。

公益社団法人
板橋区 シルバー人材センター
〒173-0004 板橋区板橋2-65-6
板橋区情報処理センター2階
3964-0871

商品の購入や契約など消費生活にかかわる相談を無料で受け付けています。

板橋区消費者センター
☎ **03-3962-3511** (相談専用)

〈相談時間〉月曜～金曜 9:00～17:00(祝日・年末年始を除く)

土・日・祝日はこちらへ

消費者ホットライン

☎ (局番なし) **188**

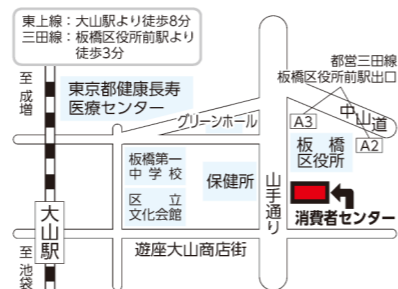
音声ガイダンスに沿って電話機を操作してください。
PHS、IP電話、プリペイド式携帯電話からはご利用できません。

以下の窓口へおつなぎします。(年末年始を除く)

土曜 9:00～17:00 東京都消費生活総合センター(直通あり 03-3235-1155)
土・日・祝日 10:00～16:00 国民生活センター

板橋区消費者センター
☎ **03-3579-2266**

〒173-0004
板橋区板橋2-65-6
板橋区情報処理センター 7階
FAX : 03-3962-3955
ホームページ
<http://www.city.itabashi.tokyo.jp>
記事に関するご意見ご要望をお聞かせください。



賢い消費者になるための情報紙

くらしの あい Eye

2015年(平成27年) 8月発行 No.294



- 夏の事故にご注意!! P1
- 消費者トラブルに気を付けて! P2
- 平成26年度板橋区消費生活相談の状況 P3
- 新聞の訪問販売トラブル
～悪質な勧誘にはご注意ください～ P4

編集・発行 **板橋区消費者センター**



夏の事故にご注意!!

夏の暑い時期に起こりやすい事故についての主な注意事項をあげました。事故は商品(製品)の誤った使用方法により、多く起きています。商品(製品)の注意事項を守り、適切な使用方法により、事故を防ぎましょう。

花火

- ❗ 花火は火薬を用いており危険性を伴う玩具だという認識を持ちながら、使用しましょう。
- ❗ バケツなどに水をくみおき、必ず消火用の水を用意しておきましょう。
- ❗ 子供は親などの大人と一緒に遊び、大人は子供の行動をよく監視し、危険な行為は止めさせましょう。



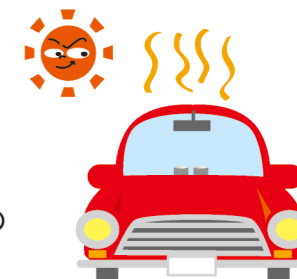
バーベキュー等に使用する着火剤

- ❗ 着火剤の「つぎたし」や火の中への投げ入れは絶対にやめましょう。
- ❗ 時間を置くと揮発したガスの量が増えすぎて危険なので、木炭の下に着火剤を絞りだしたら速やかに点火しましょう。



自動車の車内や高温になる場所

- ❗ 炎天下において、車内は高温になっているため、火傷等には注意するとともに、閉め切った車内に長時間いることは危険なので避けましょう。
- ❗ ライター、缶入り炭酸飲料、スプレー缶製品等、破裂、爆発する恐れのある物を直射日光の当たる場所や加熱源の近くなど高温になる場所には放置しないようにしましょう。



◎ 事故事例などの詳細は以下のサイトをご覧ください。

<消費者庁>夏の事故やトラブルに注意! <http://www.caa.go.jp/information/summer.html>

◎ 製品事故に関する情報は以下のサイトをご覧ください。

<経済産業省>製品安全ガイド http://www.meti.go.jp/product_safety/

<NITE>製品安全 <http://www.nite.go.jp/jiko/>